

## 交通事故のワンストップサービス（主に被害者側）

交通事故の損害賠償においては、弁護士介入により、賠償金額が上がることも多いです。比較的金額の高い裁判基準を用いて交渉や訴訟ができるからです。

しかし、多くの方が、それを知らず、加害者や保険会社から言われるがままに示談してしまっている例もみられるようです。被害者は、解決するまでの間、どのように交渉したらよいのか、どのような損害を請求することができるのかなど、多くのお悩みを抱えているのが現状です。

そこで、被害者が、事故に遭ってから解決に至るまで、どのような悩みを抱えるか、それに基づき弁護士はどのようなサポートができるか、わかりやすく時系列で並べ整理しました。ご参考ください。

時期	お悩み事例	アドバイス・サポート
交通事故発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故に遭いました。初めてで何もわかりません。どうしたらよいですか。</li> <li>・交通事故証明書とは何ですか。どこで取得できるのですか。</li> <li>・加害者から示談を持ちかけられています。どのようにしたらよいのでしょうか。</li> </ul>	事故直後の対応、主に証拠の残し方やこれからの流れについて、アドバイスをを行います。
治療中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような治療を受けるべきでしょうか。</li> <li>・現在治療している病院で、このまま治療を継続してよいのでしょうか。適切な病院が分かりません。</li> <li>・治療費がかかるので、治っていませんが、治療をやめたほうがよいのでしょうか。</li> </ul>	後遺障害認定も視野に入れ、治療先や治療方法、検査方法などについて、法的な観点を踏まえ、アドバイスをを行います。
治療費・休業損害の打ち切り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治っていないにもかかわらず、保険会社から治療を打ち切ると言われました。治療をやめないといけないのでしょうか。</li> </ul>	打ち切りの妥当性を、法的な観点を踏まえて検討します。場合によっては保険会社と交渉を行います。
症状固定・後遺障害等級の認定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・症状固定とは何ですか。どのタイミングでの症状固定とするのが妥当でしょうか。</li> <li>・適切な後遺障害認定を受けるために、どうすればよいのでしょうか。</li> </ul>	適切な後遺障害認定を受けるため、法的な観点から、アドバイスをを行います。場合によっては、既になされている後遺障害等級に対して、異議申立てを行います。
保険会社からの示談の提案・交渉・裁判	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険会社から示談の提案がありました。妥当かどうか分かりません。</li> <li>・自分で交渉しようにも、各項目の支払基準など、よく分かりません。</li> </ul>	保険会社との交渉を行います。場合によっては訴訟を提起することもあります。その際、自賠責基準でも、保険会社の基準でもなく、比較的金額の高い裁判基準を用います。
加害者との対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加害者に対し、どう対応してよいのかわかりません。</li> <li>・刑事事件にどのように対応すべきかわかりません。</li> </ul>	加害者対応、刑事事件対応のアドバイスをを行います。

被害者は、保険会社との交渉以前に、さまざまな対応にかかる手間につき、多大なストレスを抱えてしまうものです。弁護士は、このような被害者の方々のお悩みに対し、アドバイスやサポートを行うことができます。交通事故に遭ったら、まずは弁護士に相談することをおすすめします。一緒に適切な解決を目指しましょう。